

男と女の立場が逆なん
だって

ぶー助

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

遙か昔、この地球を未曾有の危機から救った英雄がいた。しかし、その英雄は現代から召還されたどこにでもいるツツウの男子高校生。最初は戸惑っていたが、戦いの中で成長していった・・・そして魔王を倒し？真理の扉を開いて現在の世界へ・・・戻れなかった!? 真理の扉の先は、彼が暮らしていたパラレルワールド。さらに現代の世界であるから元の世界に帰る方法は

無い、果たして彼は元の世界に帰れるのだろうか？

目次

プロローグでもありエピローグでもある

1

プロローグでもありエピローグでもある

何時のことだったか

自分が勇者として戦っていたころ

何もかもが懐かしい

魔王を倒した？ときの会話を思い出す

「ふはは……勇者、我が倒されても第二、第三の……」

お前を犯そうとするものが現れるであろう!!」

「うわああああ!!! . . . はっ、はあ、はあ . . . さ、最悪だ . . . 」

そう、上記に記した通り、魔王は勇者、つまりこの物語の主人公 坂町 徹夜の貞操を狙っていた。ちなみに魔王は女。

「畜生 . . . なんて夢を見るんだ . . . 」

くそ、何が悲しくて女に逆レイプされにやいかんだ . . . されてないけど。

どうも、皆さん初めまして。坂町徹夜だ。職業は学生 . . . だけど過去には勇者をやっていた、んだけどこんなことを言っても誰も信じないだろうけど。

「はあ . . . とりあえず飯食いに降りよう . . . 」

「徹羅！仕事行ってくるわ！」

「行つてらっしゃい、風音」

さあ飯食うか・・・ん？今おかしいところがあつたつて？そんなことないさ。

「父さん、飯よそつて」

そういつて俺は右手でリモコンの電源ボタンを押す

「はい、徹夜」

『昨夜未明、都内電車にて、男性が痴漢されるといふ事件が発生しました』

『最近増えてますね、こういう事件』

『そうですね、特に若い女性、学生がこういうことに走ることがふえてますね』

『根宮さんも危ないですよ？気をつけておくことに越したことはありませんよ』

『や、やめてくださいよ』

ハハハハハハ!!!

え？絶対おかしいつて？そんなこと・・・

大有りだよ!!なんだよこれ!!

一体全体意味がわからない。テレビをつけるとこれ、漫画を見るとヒロインが男、グ
ラビア誌は男性の半ヌードの写真 e t c . . .

親父が働いていたはずなのに、お袋が働いてるし、親父はこんなに女つぼくないし料理
もできなかつたはずだ。

事は数日前にさかのぼる . . .

「最後だ魔王!!これで終わりだああああ!!!」

「かかって来るがいい!!勇者よ!!間違つて我の胸に顔をうずめてもいいのだぞ!!」

「やめてくんない!?!せつかく格好良く閉めようと思つたのに、何回目だよこれ!?!何回や
り直したと思つてんの!?!」

「むう . . . 仕方があるまい、お前が愛くるし過ぎるのがわるいのだぞ? こうしてお前を
見ていただけでも我の子宮がうず「それをやめろつつつてんの!!」むう . . . しかしど
うすればよいのだ、我はお前を殺したくはないし、殺されるわけにもいかぬ」

「それは……」

「そうだ、こうすればいいのだ！お前を帰して私もそちに行けばいいのだ！」

「いや……そうか？……いや、違うだろ!? だいたいお前が居なくなったら魔族はどうなるんだよ！」

「そんなもの側近にでも任せればいいのじゃ」

「魔王様!？」

「よくないだろそれ!？」

「しつこいのう……それ!! 真理の扉！」

ズズズズ……ガンツ！

「うお!？」

「気づいたときにはもう遅い！ゲートオープン！」

ガガガガガガ……キーン!!

「ちよ、なんか吸い込まれる！やめろ！」

「ふふふ、大丈夫じゃ、ちゃんとお前の世界に通じておる（お前の住んでた世界のどこかわからぬがな……）」

「そういう問題じゃねえんだよ！しかも今なんか言っただろ！」

「あきらめろ、勇者。我もすぐにそちらに行く、楽しみに待つておれ!……最後くらい

はちやんとせぬとな」

「ふはは・・・勇者、我が倒されても第二、第三の・・・

お前を犯そうとする者が現れるであろう!!」

「冗談じゃねえええ・・・」

ゆうしや は とびら に すいこまれた
!